

質問：採用面

	過去の質問	回答
質問1	どのような人材を必要としていますか？	<p>業務の幅が急性期から生活期まで幅広いので、特定の疾患に対してのスペシャリストとしても広く対応するジェネラリストとしても活躍の場を用意できます。そのうえで共通する点として以下のような人材を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none">● 患者さんに寄り添える人 (親身になって、温かく接する、一人一人を大事にできる)● チームの一員としてはたらく (周囲との協力、コミュニケーション)● 学習意欲、向上心 (将来的にジェネラリスト・スペシャリストに向かうために、自分で考えて学習することができる人)
質問2	スタッフの府外出身者の割合は？	大阪・大阪以外では5:5程度となり、府外出身者も多くいます。

質問：日常業務面

	過去の質問	回答
質問1	スタッフの1日の業務の流れは？	ボバース記念病院、森之宮病院の紹介動画をご確認下さい。
質問2	特に力を入れている対象疾患は？	森之宮病院では脳卒中が回復期入院患者の8-9割を締めています。ボバース記念病院では脳性麻痺が中心となります。
質問3	担当患者は日々変わるのか(退院まで受け持つのか)？	担当制度となっています。一方で、休みのセラピストの代わりをするため、日々数名は代わりに担当します。
質問4	他職種との連携の進め方は？	所属病棟スタッフと毎朝、昼などカンファレンスを通じて連携を深めていきます。
質問5	ボバースアプローチの魅力的な点は？	個別性を重視している所です。社会背景や個人因子を踏まえた上での関わりを大切にしている所が魅力的だと思います。また各療法がボバースアプローチを行ってるため、個別の目標設定を家族や本人と一緒に考え設定できる所です。

質問：教育面

	過去の質問	回答
質問1	入職してから必要な技術や知識は？	入職後の新人教育や年間教育で身につけて頂きます。
質問2	勉強会の頻度は？	再教育は月2-4回(月2時間程度)の頻度で実施しています。コロナ禍においては、動画研修等も実施しています。
質問3	週1回PT / OT / STの症例検討の目的は？	基本的には各職種に分かれて実施し、様々な視点で対象者の課題設定や分析、介入方法を検討することが主な目的です。
質問4	中途採用でも研修会はありますか？	ボバース基礎講習会(3週間)を受講していない場合は、新人教育の参加対象となります